38、岡崎一矢矧(矢作・やはぎ)乃橋 三河国・愛知県岡崎市

東海道最長の橋が、矢作川に架かる長さ208間 (約378m)、幅4間(約7m)の矢矧橋で、絵 は西国から江戸に向かう大名行列が渡っていると ころです。河原は葦や雑草が生い茂っていますが、 渡った先が藤川から6.7kmの岡崎宿、岡崎城と 城下町が見えます。



岡崎城は、徳川家康が生まれ、今川氏の人質から

脱した後の20年間を過ごした城で、遠景に甲山と村積山が見えています。

子供の頃の日吉丸(後の豊臣秀吉)が夜盗蜂須賀小六と会ったという伝説を 持つ橋としても有名ですが、当時この橋はありませんでした。

39、池鰹鮒(ちりふ)一首夏馬市 三河国・愛知県知立市

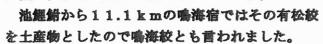


池鯉鮒宿の手前の草原では、毎年4月25日から 5月5日までの10日間、馬市が開かれ、遠く信養や 甲斐などからも人が集まりました。初夏のさわやかな 草原に様々な様子の馬が描かれ、馬喰(ばくろう)が 客待ち顧で、松の木の下から来る一団は買い付けの商 人らでしょう。4~500頭の馬が売買されるため人 出を当て込んだ商人が食べ物、大道芸、賭場など野天

の店を開きましたが、買い付けの一団の前で迎える天秤棒の人は何かを売る 商売人でしょうか。この草原を過ぎると岡崎から15kmの池鰹鮒宿で、 三河国最後の宿場です。

40、鳴海一名物有松絞(ありまつしぼり) 尾張国・愛知県名古屋市緑区

池鯉鮒から約3.9 km、間の宿(あいのしゅく、 宿泊できない決まりがあった) 有松があり、鳴海 付近で生産された木綿を絞り染めした反物が名産 品「有松紋」で、尾張藩も殖産奨励、保護し、今 は国の伝統的工芸品に指定されています。





店頭に手拭い、浴衣、帯などをつるして通行人にアピールし、旅の女性が 笠を揚げて眺めていますが、鶺籠や馬の旅人は関心なさそうで、夕暮れの 街道を疲れた足取りで進んでいます。今夜は鳴海泊まりでしょうか。